

救命救急科・集中治療科

救命救急科・集中治療科は、高度救命救急センターにおけるER業務、病棟入院、集中治療室管理、Rapid Response System (RRS)という院内急変対応、ドクターヘリや救急隊教育をはじめとする病院前救急活動、そして災害医療派遣チーム (DMAT)といった様々な業務を担っています。



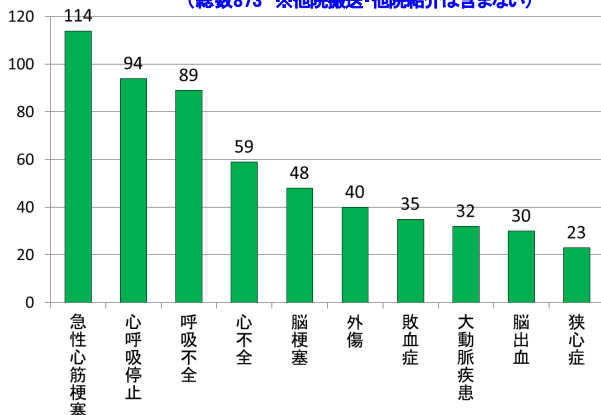
当院は県内唯一の高度救命救急センターを有しており、24時間365日、年齢や重症度、疾患内容を問わず、全県下から年間15,000-20,000人の患者さんが受診されます。そのうち救急車搬送は年間約4000台、ドクターヘリの搬送件数は年間500件前後です。これらの患者さんを24時間体制で待機する各科専門医の協力を得て診療にあたっています。

集中治療室には各科の重症患者さんが年間1000名程度入室し、集中治療室専従医師と主科、他職種医療スタッフで連携しながら診療にあたっています。Semi-closed ICUであり、集中治療室医師は重症の患者さんの主治医となるほか、術後患者さんは各科主治医と協力して治療を行っています。

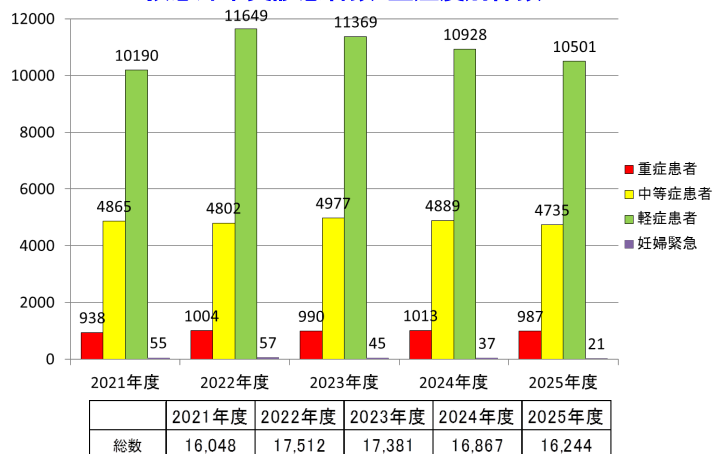
また、救命救急科も入院を担当しており、年間800名前後の患者さんを受け入れています。重症患者や中毒、多発性外傷、溺水などの特殊病態から、多くの身体的・社会的問題を抱えた患者さん、夜間の救急外来からの経過観察入院の受け入れなど、様々な背景を持つ患者さんに向き合っています。

私たちは、地域に密着し、地域の人々の命とよりよい生活を守るため、日々活動しています。

救急外来重症症例(2025年度)上位10疾患
(総数873 ※他院搬送・他院紹介は含まない)

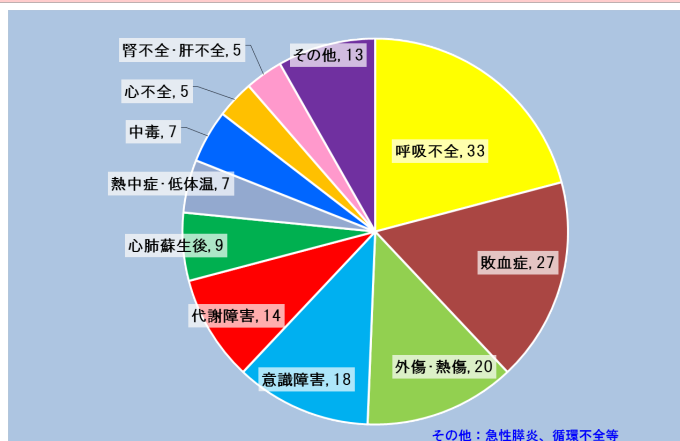


救急外来受診患者数・重症度別件数



ICU(集中治療室)管理

救命救急科におけるICU入室患者 159人/年間(2025年度)
(ICU全入室患者数:813人)



島根県立中央病院